

「飽田の森」の記念植樹に参加

3月12日、南阿蘇村久木野の分収造林契約地「飽田の森」において、飽田地区青少年健全育成連絡協議会・飽田の森を育てる会、熊本市立飽田中学校主催による記念植樹が、飽田の森を育てる会、飽田中教職員・保護者の有志29名で実施され、当署からも川畑充郎署長が参加しました。

同会は平成12年に「飽田の森」を設定し、これまで森林づくりを通じた社会活動や環境教育活動に取り組んできており、昨年5月に国民の森林づくり推進功労者に対する林野庁長官感謝状の贈呈を受けています。

当日は、主催者挨拶に続いて川畑署長が「今後とも国民参加の森林づくりの他の模範となり、飽田の森が次の時代まで繋がっていくことを期待します」と来賓挨拶しました。その後、本年もコロナ禍で参加できなかった飽田中2年生が思いを込めて作成した標柱と苗木の引き渡し式を行い、参加者でもみじ7本を植樹しました。

なお今回の活動には、平成12年当時に飽田の森を設定するためにご尽力された林野庁OBの宮島草さんと佐渡保信さんも参加され、設定時の飽田の森の役員、先生方と再会を果たされるとともに、年数を重ねて大きく成長した木々に感銘を受けておられました。

国有林は次世代に向けて未来永劫続いていきますが、森林だけでなく地元との絆も次世代に繋げていかなければならない、そして林野庁と言う組織と人材も次世代へしっかりとパトントッチしていかなければならないと考えさせられる一日となりました。



(苗木と標柱の引き渡し式)



(参加された皆さん)



(作業する参加者)



(OBの佐渡さんと宮島さん)